FUJIFILM

富士フイルム(株)富士宮工場 サステナビリティレポート 2013

ご挨拶

富士フイルム富士宮工場はこの度世界文化遺産に登録された富士山の南西山麓に位置し、豊富な湧水や清澄な空気の恩恵を受け、本年工場創立 50 周年を迎える運びとなりました。これもひとえに地域やステークホルダの方々のご理解ご支援の賜であると深く感謝しております。

私たちは研究開発や生産などすべての企業活動に於いて、排水処理の厳しい管理、産業廃棄物低減化と適正処理推進によるゼロエミッションの継続、使用エネルギーの一層の削減と有効活用、さらに化学物質の適正管理などに常に全力で取り組んでおります。また、地域の皆さまとの対話を大切にし、環境対話集会を毎年開催するとともに県や市の活動への参加や見学受入など積極的な情報公開を心掛けております。

当工場は自然の恵みに感謝し、社会や地域の皆さまとともに安心して暮らしてゆくための高い環境品質を未来も見据えてこれからも保全し続けて参ります。

2013年9月
富士フイルム
富士宮工場長
加藤 正俊

＊このレポートは、
富士フイルム(株)富士宮工場の環境･安全及び地域とのコミュニケーションについて、2012 年度の活動や実績をまとめたものです。
対象期間：2012 年 4 月～2013 年 3 月

FUJIFILM

平成24年度 富士宮事業場 基本方針

本質をつかみ、自らが主役となって、確実にやり抜こう！

－ 世界一の信頼を得る事業場を目指して！ －

安全：決め事・ルールを徹底的に守る！ いかなる時でも安全最優先！
環境：高効率生産で使用ｴﾈﾙｷﾞｰと廃棄物を徹底的に削減しよう！
品質：製品・人・設備の質の向上で、新製品導入とｺｽﾄﾀﾞｳﾝを達成しよう！

富士宮工場の概要

創立	1963 年 10 月 16 日(創立 50 周年)
所在地	〒418-8666 静岡県富士宮市大中里 200 番地
主要生産品目	医療及び工業用 X-レイフィルム、プレスケール、写真印画紙用支持体、インクジェットペーパー、光学フィルム など
ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ	ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 の認証取得
2012 年度概況	生産金額 635 億円 従業員数(社員)961 人 工場敷地面積 357 千㎡ 工場建物面積 131 千㎡

環境年表

1963 年	富士宮工場創立 岳南排水路に放流開始
1974 年	潤井川放流へ切り替え
1975 年	富士宮市公害防止協定締結
1996 年	ISO14001 認証取得
2001 年	ゼロエミッション達成
2007 年	PRTR 大賞優秀賞受賞
2011 年	産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒章受賞 3R 推進協議会会長賞受賞

環境負荷概要

主要原材料
ゼラチン、パルプ、ポリエチレンなど 117,462t

エネルギー
重油･灯油 52,909kl
電力 9,769MWh
天然ガス 34,342 千 Nm³
水 16,784 千 m³

主要製品
X-レイフィルム、印画紙用支持体など 99,992t

環境成績
大気排出 VOC153t、CO2238,765t、SOx15t、 NOx215t
排水量 16,118 千 m³
排水水質 COD57t、BOD21t、総りん量 0.54t
一般廃棄物 46t、産業廃棄物 1,234t、有価物率約 90%

環境保全活動の概要

大気	各項目とも規制値以下でした。
排水	法規制値以下の管理基準値を設けて管理を行い、各項目とも管理基準値以下でした。
ゼロエミッション	2001 年にゼロエミッションを達成し、その後も維持･継続しています。
環境モニタリング	定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しています。
PCB の適正管理	微量 PCB を含む汚泥 10,394 ㎥を適正に管理し、地下水に漏洩がないことを確認しています。また、コンデンサーやトランスなど PCB 含有物も適正に管理しています。
クレーム	2012 年度もクレームはありませんでした。2005 年度からクレームゼロを継続中です。
環境会計	2012 年度の環境会計を集計した結果、環境保全ｺｽﾄは 33 億円、経済効果は生産効率の改善などにより 48 億円でした。

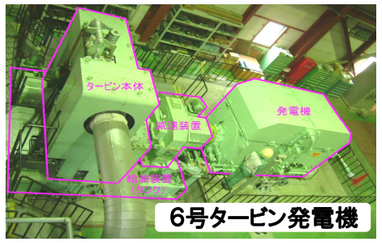
【特集】～電力需給改善への社会的寄与～

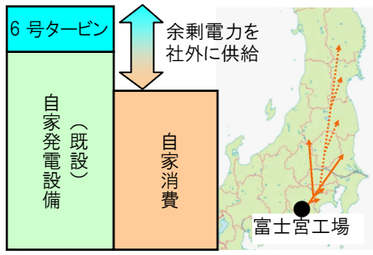
2011 年は東京電力管内の深刻な電力不足(電力使用制限令)対応として、自家発電設備の能力を最大限活用し、富士宮工場の自家発電電力を富士フイルムグループ 15 拠点へ電力会社送電網を介して緊急的に送電(自己託送)し、生産活動を維持しつつ東京電力からの受電量削減を達成して電力不足の緩和に貢献しました。

2012 年は、原子力発電所停止の影響等による電力需給不足が全国的に拡大する中、休止中であった 6 号タービン発電機の再稼動などにより自家発電能力を増強し、社内への電力供給安定化を図るとともに、余剰電力の社外供給を実施して電力需給の安定化に貢献しました。

今後は、特に電力需給が逼迫する夏場のピーク電力を軽減させるために、グループ内拠点のピーク電力を富士宮工場で一括監視し、必要に応じて富士宮工場から富士フイルムグループ各拠点へ送電する体制構築の準備を進めています。

富士宮工場は、発電資源(設備･人･ノウハウ)をフルに活用し、富士フイルムグループに留まらず、国レベルでの電力安定供給にも、引き続き貢献して参ります。





富士宮工場からグループ会社各拠点に送電し、電力会社のピーク電力を抑え、電力不足を緩和。

図1 電力自己託送

環境保全活動

1)水質汚濁防止

河川放流水の品質は富士宮市公害防止協定の規格範囲内を継続しています。また、敷地内の地下水でもすべての物質が環境基準値内を維持しています。

表1. 放流水の水質

分析項目	単位	法規制値	県条例値	公害防止協定値	工場管理値	実績〔2011 年〕	実績〔2012 年〕
pH(水素イオン濃度)	—	5.8～8.6	5.8～8.6	6.4～8.3	6.4～8.3	6.6～7.6	6.9～8.0
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/l	最大 160 平均 120	30 20	9 6	9 以下 6 以下	2.1 1.3	2.1 1.3
COD(化学的酸素要求量)	mg/l	—	最大 30 平均 20	16 8	13 以下 8 以下	4.1 3.4	4.5 3.5
浮遊物質量(SS)	mg/l	最大 200 平均 150	40 20	20 12	5 以下 3 以下	1.2 0.7	1.0 0.8
フェノール類	mg/l	5	—	—	—	<0.5	<0.5
大腸菌群数	個/ml	3,000	—	—	—	120	120
窒素含有量	mg/l	—	—	—	—	2.5	3.5
リン含有量	mg/l	—	—	—	—	0.1	0.1

2)大気汚染防止

大気放出ガスの監視により、富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。

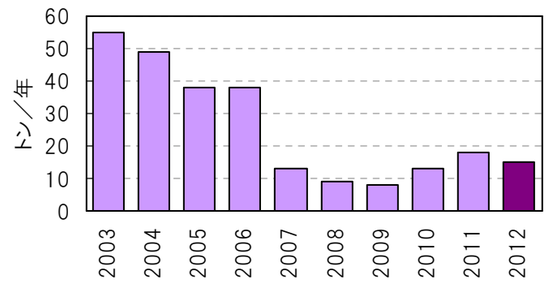


図2. 大気放出SOx量の推移

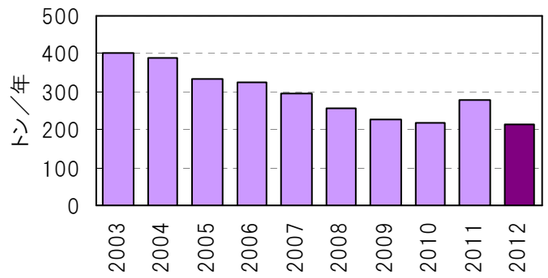


図3. NOxの大気放出量推移

3)廃棄物削減と3R※の推進

※3R:リデュース・リユース・リサイクル

2012 年度は生産安定化や徹底した分別による有価物化推進により発生量を削減しました。現在、有価物化率は約 90%に達しています。

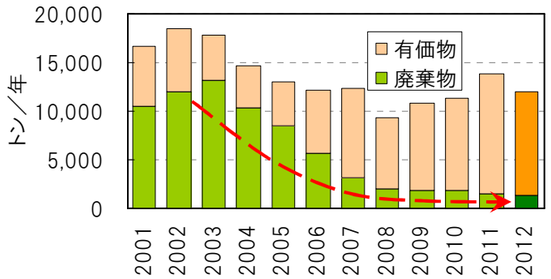


図4. 廃棄物と有価物の推移

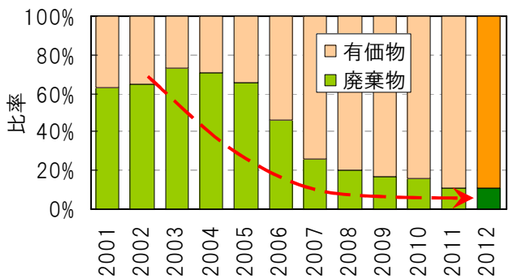


図5. 廃棄物と有価物比の推移

4)産業廃棄物の処理委託先実地確認

排出事業者責任を全うするため、また適正処理できる優良で安定した処理委託先を確保するため、富士フイルム全社共通ルール「廃棄物委託先業者の評価手順」に則り、法順守状況・企業の管理体制や運用・廃棄物処理の状況・施設の状況・地域環境対策・事務管理状況など約 60 項目について、事前アンケートや実地調査により評価しています。2012 年度は 21 社について評価を行い、問題なく適正処理されていることを確認しています。

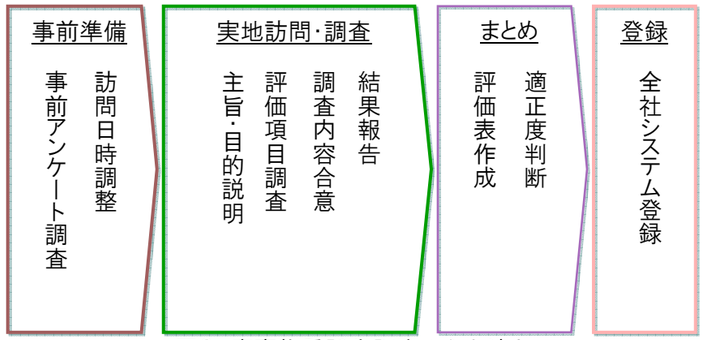


図6 廃棄物委託先調査の主な流れ

現地調査

5)化学物質の適正管理 ～PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理状況～

PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)では、人の健康や生態系に影響を与える恐れがあり、且つ環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学物質について、行政への報告が義務付けられています。自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と水域排出)と、総移動量(廃棄物)の推移を図 7 に示します。

総排出量、総移動量ともに、前年度より低減することができました。総排出量については硫酸アルミニウムの水域への排出を、また総移動量ではエチレングリコールを低減することができました。

なお、土壌への排出は継続してありません。

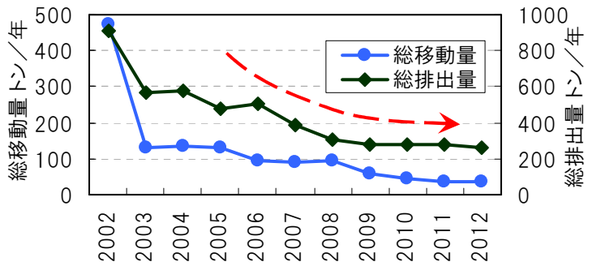


図7. 総排出量と移動量の推移

また、PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理に加え、それ以外の原材料、研究・検査及び工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全や廃棄物管理など、総合的観点からリスクを評価し、管理基準を設定した上で使用するシステムを構築して管理・運用しています。

労働安全衛生

スローガン ： 決め事・ルールを徹底して守る！いかなる時でも安全最優先！
目標 ： 労災0件！

1)労働災害ゼロへの取り組み

・「決め事・ルールを徹底して守る」、「職場、個人の安全感度の向上」、「気軽に話し合える風土作り」を重点とした安全行動・安全活動の継続推進

・労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)の運用による労働災害防止

2)心身の健康づくりと職場環境向上の推進

・長時間労働による健康障害防止、メンタルヘルス早期発見と早期対処

・受動喫煙の完全防止や禁煙希望者への支援

・定期健康診断有所見者に対する産業医による個別指導

・心身のリフレッシュのため週 1 回の定時退社日を設定

2012 年安全衛生大会

3)交通事故防止

・通勤途上の加害事故撲滅

4)防災対策の推進

・防災訓練(総合防災訓練、夜間地震防災訓練、火災消火訓練)

5)朝の挨拶運動

・2005 年に始まった挨拶運動では従業員が交代で各門に立ち、元気な挨拶を交わしています。

朝の挨拶運動

6)安全教育・講習会・講演会の実施

・安全衛生大会(参加者 368 名)

・4ラウンド KYT 講習会(参加者 102 名)

・低圧電気取扱い講習会(参加者 70 名)

・羽衣国際大学准教授にしゃんた氏による安全講演会(参加者 257 名)

・浜松医科大学医学部教授巽あさみ氏によるメンタルヘルス講演会(参加者 368 名)

社会とのコミュニケーション

1)工場周辺道路の清掃(2012 年 6 月 1 日、参加者約 500 名)

毎年 6 月を環境向上月間と定め、環境保全意識の高揚のため朝ビラを配布し、工場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。

環境月間の朝ビラ配布

2)清水川清掃(2012 年 6 月 10 日、参加者約 100 名)

従業員、関連会社や地元大中里地区の方々に参加いただき、構内を流れる一般河川清水川の清掃活動を行い、ホタル生息地を保全するとともに地域の皆様との交流を行いました。

3)環境フェア in 富士宮(2012 年 11 月 17-18 日)

富士宮市産業フェアと併せて開催された環境フェアに出展し、電力不足問題や排水処理への取り組みを自主制作のビデオ上映、排水処理サンプル展示やパネル掲示などで分かりやすく説明し環境保全活動をご理解いただけるよう努めました。

大中里地区共催清水川清掃

4)大中里地区環境対話集会(2013 年 2 月 16 日、参加者 24 名)

大中里地区との共催による環境対話集会を工場内で開催し、環境保全活動を紹介しました。また参加者と工場関係者の間で地域の環境問題について意見を交わし、環境に対する意識を高め合う事ができました。

5)社外での講演(2013 年 3 月 14 日)

福岡県産業廃棄物協会からの依頼により、富士宮工場の廃棄物削減や適正処理に関する取り組みについて講演しました。

6)工場見学受入

企業や学校などから 13 件 414 名の方々が見学に来訪されました。

大中里地区環境対話集会

本レポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願いいたします。
富士フイルム株式会社 富士宮工場 事務部 環境保全課 TEL:(0544)26-7175 FAX:(0544)26-7176
発行:2013 年 9 月 制作:富士フイルム株式会社 富士宮工場